

よろずは

平成二八年

四月号

歌碑めぐり 16

今回は広島県尾道市の歌碑をご紹介します。桜の名所でもある千光寺公園の「文学のこみち」には25基の文学碑が建てられています。そのなかに1基だけ万葉歌碑があります。揮毫者は元市長の松谷勝氏です。

ぬばたまの夜は明けぬらし玉の浦にあさりする鶴鳴きわたるなり

卷十五の三五九八番歌

真つ暗な夜は明けたらしい。玉の浦で餌をあさる鶴が鳴き渡っているようだ。

これは天平八年(七三六)に遣新羅使人が詠んだ歌です。「玉の浦」の場所については岡山県倉敷市玉島や同県玉野市玉など諸説あり、広島県尾道市長江も比定地のひとつであることから、この地に歌碑が建てられたようです。

歌碑が建つ場所は尾道水道が一望できる絶景です。地元では尾道水道を鶴湾と呼ぶそうです。それは羽を広げた鶴の形に似ていたためだそうで、その名は銘菓にもなっています。鶴湾の名とともに、この万葉歌は古歌として地元で愛されています。【万葉古代学係】



タイトルの「よろずは」は、「万葉」を訓読みしたものです。

(広島県尾道市／文学のこみち)